

第13回

きらり川口ジュニア議会

8月23日、きらり川口ジュニア議会が開催されました。

この事業は次代を担う子どもたちに、議会の体験をとおして市政の仕組みを理解し、市民としての意識を高めてもらうことを目的に始まりました。今回は、各中学校から2人と市立高等学校から1人の全51人の議員が選出され、それぞれの視点から、市政に対しての質問や提言をしました。



出席議員 (敬称略)

山崎 望実	白井 拓実
羽鳥 聖七	野口 直杜
小林 悠乃	井上由利奈
佐々木優衣	浅見 真由
林 秀美	栗田ゆうか
村野 希恵	松橋 勇輝
板橋 秀英	大橋 晃介
肥島 祐亮	伊古田佳苗
馬場まりこ	谷貝 勇気
北村 千晴	三浦 僚太
伊藤 友香	加藤日菜子
川田 美理	櫻井 優衣
井口 春香	藤崎 智行
三浦 大輝	佐々木麻衣
松本 将治	森 優花
川端ひなの	藤巻日菜乃
遠藤 聡太	鈴木 玲子
古藤 彩	水野 志保
下司 結香	武笠ちひろ
後藤 諒真	西村 環
菅原 学	下川 稜平
尾形 実音	鈴木 裕登
佐川 司	早船 功将
島津 宙翼	山田 莉奈
須永賢太郎	山田 麻莉奈
有馬 光星	渋谷 絢子

質問・答弁

Q 災害に対する川口市の防災対策はどのようになっていますか

A 3月11日の東日本大震災は、地震と津波、その後の福島第一原子力発電所の事故と続き、太平洋沿岸500キロに及ぶ被害と、目に見えない放射性物質による汚染という大災害をもたらしました。この大災害に対し、単に「想定外」という言葉で片付けてはいけないと思っています。

災害に対する対応の基本は、まず「自助」すなわち「自らの力で自らを助ける」と、「共助」すなわち隣近所で共に助け合うということです。そして最後が「公助」。公の役所が助けるという順番です。

市では災害に対する備えとして川口市地域防災計画を策定し、食糧や物資の備蓄、他市や防災関係



直しを行い、対策の強化に取り組むべく準備を始めたところです。今後とも、市民のみなさんが、安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。



議員提出議案

川口に住んでよかったといえる街づくりの決議

現在、川口市はエコライフに力を入れています。年に1日、地球温暖化の主な原因である二酸化炭素を減らすために、市民全員で取り組むエコライフデー。7月7日に実施した、使用済みロウソクを溶かし、再度新しいものにリメイクして作り上げるキャンドル・ナイト2011。そして、現在行われている市民全員で節電をするチャレンジ・エコライフ。こうした、市をあげての取り組みは、川口市民一人ひとりが地球環境を考える良い機会だと思えます。また、川口市クリーン推進員が、それぞれの地域で日常的にゴミの減量化、資源化を推し進め、集団資源回収や美化活動などを行っており、市民自らの手によってきれいな街をつくっています。川口市は「環境」ということをテーマに官民が一体となって取り組んでいます。

多くの学校では、川口市の活動と同様の活動が行われており、ボランティア委員が、毎日地域の清掃活動を行ったり、全校にボランティアを募って地域清掃を行ったりしています。この活動は、地域がきれいになるだけでなく、心が洗われるような充実感があります。さらには、活動中に地域の方々と挨拶を交わすなどの交流ができ、大変有意義な活動となっています。環境が良くなると、地球にとって良いだけでなく、私たち人間にとって様々な効果があるのです。

今年は、東日本大震災がありました。いまだに様々な地域で余震が続き、被災された方のみならず、多くの方が不安な日々を送っています。私たちは、未曾有の大災害により、安心した街のあり方や、節電・エコなどの環境対策について、今まで以上に考えていく必要があると思うのです。今後は、環境を良くすることによって、落ち着いた平和な学校・地域を自分たちでつくっていくだけでなく、安心して暮らせる街づくりに貢献していくべきだと考えます。

街を美しくしたいという意識が高まれば、地球にも、そして、市民にもやさしい街になります。私たちは、そのような美しい街・川口、住んでよかったといえる街・川口をつくることをここに決議いたします。

平成23年8月23日

きらり川口ジュニア議会